

事例番号:360014

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第七部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 1 日

23:30 破水のため入院

4) 分娩経過

妊娠 39 週 2 日

2:00 陣痛発来

4:12 経膈分娩

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数 39 週 2 日

(2) 出生時体重:3200g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.16、BE -9.7mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 6 日 退院

生後 9 ヶ月 筋緊張亢進、運動発達遅延

生後 10 ヶ月 脳性麻痺の疑い

(7) 頭部画像所見:

生後 9 ヶ月 頭部 MRI で、脳室拡大、白質容量の低下あり、白質は脳室周囲を中心に広汎性に信号異常あり、脳梁の菲薄化の疑い、脳室周囲白質軟化症様の所見

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、出生までのどこかで生じた胎児の脳の虚血(血流量の減少)により脳室周囲白質軟化症(PVL)を発症したことであると考える。
- (2) 胎児の脳の虚血(血流量の減少)の原因を解明することは困難であるが、臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性はある。
- (3) PVL の発症時期は不明である。

3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 39 週 1 日、破水のため入院としたこと、および分娩経過中の管理(内診、分娩監視装置装着、血液検査)は、いずれも一般的である。
- (2) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である

3) 新生児経過

出生後から退院までの新生児管理は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

- 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項
なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

PVL 発症の病態生理、予防に関して、更なる研究の推進が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。